

つばめ飛び、地域輝く

第一回 住民が主体の地域づくりへ——水保・芦北地域

九州新幹線 新八代～鹿児島中央間の本年三月十三日の先行開業。さらには博多までの全線開業の効果をも県内各地域の活性化につなげるため、県では「新幹線を活かしたくまもと創り」に取り組みんでいます。このコーナーでは新幹線をそれぞれの地域づくりに生かした取り組みを紹介いたします。

開業を機に地域の絆がより深く、「JRだけでなくマイカーでの観光客も増えました。新幹線と肥薩おれんじ鉄道の同時開業もあり、人の流れは確実に変わってきています」と、観光物産協会エコミなまたと会長の福田興次さん。水保芦北地域の観光や物産関係者で組織された「エコミなまた」は、新幹線・肥薩おれんじ鉄道開業記念食品開発コンペの開催や、地元の観光環境、歴史などについて研修・認定を受けたタクシー乗務員、ガイドライバーの育成など、独自の取り組みを行ってきました。また、去る五月には、肥薩おれんじ鉄道の車両を貸し切ったユニークな総会を開き、これまでの取り組みの成果を踏まえ、さらに事業を充実・拡大させていこうと結束が図られました。

「食品開発コンペを通して、出品した店同士の横のつながりができました。開業を地域振興の起爆剤にしていきたい」と、みなまた観光物産館まつぼっくり館長の井上和也さん。「うちは乗務員の約六割が、ガイドライバー」。



観光物産協会 エコミなまた会長 福田興次さん

再発見し、より自信を持って案内できるように、また、低料金

「人」と語る福田さん。「新幹線の開業を契機に、みんなが一丸となり、主体性を持ってまちづくりに参加するようになり、地元の人々の温かいもてなしの心が、リピーターにつながる。そのためには、私たち一人ひとりがふるさとの良さを直視し、天草や鹿児島などと広域で連携しながら何が出来るかを考えていく必要があります。」住民が主体の地域づくりは、今新たな一歩を踏み出したばかりです。



新水保駅

と分かりやすい観光案内でお客様の評判も上々です。と、地元タクシー会社営業部長の前田治さんはその効果を実感しています。全線開業へ向けさらなる取り組み



九州新幹線「つばめ」

は〜い! 県議会

「は〜い! 県議会」では、県議会の取り組みなどを分かりやすく紹介し、身近に感じていただけるようなさまざまな情報を提供します。

😊 県議会ってどんなところ?

Q1 県議会って何をするとところ?
A1 県議会は、県の議決機関です。知事をはじめとする執行機関は、各種の事業やそれに必要な予算や条例などについて県議会での議決を受けて事業を進めます。そして、



6月定例県議会

県議会はそれらの事業などが県民の皆さんのためになるかどうかを調べたりもします。

また、県の仕事についての県民の皆さんからの請願や陳情などの要望を受けて県の仕事に生かしたり、県民の皆さんの生活をより良くするために国などに対して意見書を提出し、協力を求めたりもします。議決機関と執行機関は、それぞれ独立した機関として対等の立場にあり、互いに協力して県政を運営していくことから車の両輪に例えられています。

- Q2 県議会議員は、何人?
A2 県内は23の選挙区に分かれ選挙によって55人の議員が選ばれています。(任期4年)
- Q3 県議会はどんな仕組みなの?
A3 県議会には、本会議と委員会があります。また、本会議は、定例会と臨時会があり、議員全員で行います。



※平成16年3月31日に発足した上天草市の選挙区は、従前の「天草郡上島」のままです。

- 本会議
定例会/年4回、おおむね2月(3月)、6月、9月、12月に開催されます。
臨時会/議員改選直後および必要のあるとき開催されます。
- 委員会
複雑・多様な県の仕事に対応し、本会議に先立って専門的に審査するため、常任委員会と特別委員会が設けられており、議員は各委員会に分かれて所属しています。このほかに議会の運営方針などを協議するため、議会運営委員会が設けられています。

- Q4 県議会の模様を見るには?
A4 県議会の本会議は、原則として公開していますので、本会議が開かれているときは、傍聴することができます。また、県のホームページの「ようこそ熊本県議会へ」でも見るすることができます。



お問い合わせ先

熊本県議会事務局 ☎096-383-1111 (内線6455) FAX096-384-8896
ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/assembly/contents/index.html>